



「できた！」

No. 23

文責 校長 木下和敏

2学期終業式～来年は「癸卯（みずのとう）」～

本日、第2学期の終業式を体育館で行いました。昨年度までは、コロナウイルス感染拡大防止のために、始業式・終業式などオンラインで行うことが多くありました。様々な活動に制限をかけることで、自然に身につく集団行動のルールやマナーを学ぶ機会が失われてきたように思います。現在も第8波の影響が心配される中ではありますが、2学期の締めくくりを全校児童が集って行うことの意義を重視し、換気やマスク着用などの感染対策を図る中で体育館で行いました。6年生の子どもたちにとって小学校で行う「終業式」は最後となります。3学期の「始業式」も最後となります。これからも、学校生活の様々な場面で、学校のリーダーとして努力し、成長してきた姿を、後を引き継ぐ5年生から1年生の子どもたちにしっかりと見せていってほしいと思います。

令和5年の干支は「癸卯（みずのとう）」といえます。どんな年か調べてみると「去年までで様々なことの区切りがつき、次へと向かっていく。そこに成長や増殖といった明るい世界が広がっていく年」とありました。60年前の前回「癸卯」の年には「鉄腕アトム」が国産テレビアニメ第一号として放映が始まったそうです。正月には夢をしっかり描いて、そのために頑張る具体的な目標を決めることができれば、きっと大きく成長できる年になると思います。2学期も保護者の皆様には、本校教育活動へのご理解・ご支援をいただき、ありがとうございました。ご家族皆様で、よいお年をお迎えください。

【2学期終業式 校長講話から（一部抜粋）】

今日は新たな年の迎え方について話をしたいと思います。みなさんは「福笑い」という遊びをしたことがありますか。「福笑い」とは、目隠しをして、顔に目・口・鼻などをおいていくお正月の遊びです。出来上がった作品をみて「変な顔！」と家族で笑う、それが「福笑い」の楽しみです。この「福笑い」から生まれた言葉があります。それは「笑う門には福来る」という言葉です。この言葉には「いつも笑顔であれば、おのずと幸せがやってくる」という意味があります。「笑う門」の「門」には「一門」や「同門」といった言葉があるように「家族」とか「仲間」という意味があります。つまり「笑っている家族には、幸せがやってくる」という意味になります。実際に、笑うことは脳を刺激し、脳の活動を活発にしてくれると言います。また、気難しい顔をしている人より、笑顔の人が周りの人から親しまれ、自然と話をしたり、一緒に作業したりする機会も増えます。笑顔によって築かれた友達との絆は、人の幸せにとってかけがえのないものになると思います。「笑う門には福来る」この言葉を低学年のみなさんは、四文字熟語で表した「笑門来福（しょうもんらいふく）」という言葉を高学年のみなさんは覚えて帰ってください。

「笑いの途絶えない家には、自然と幸福が訪れる」という意味があります。

あと1週間ほどで新しい年を迎えます。今年の冬休みは少し長く17日間あります。楽しみにしている年末や年の初めの家庭の行事もあると思います。自分ができるお手伝いなどに一生懸命取り組み、家族と共に笑顔溢れる毎日を過ごし、家の中に幸せを呼び込んでいきましょう。冬休みの間もコロナウイルスの感染予防対策等、病気にかからないように心がけて生活してください。1月10日の3学期始業式の日、みなさんと笑顔で会えるのを楽しみにしています。

1月の行事予定

日	曜日	行事等	1月は全学年、体位測定を行います。学年・学級通信でお知らせします。
10	火	第3学期始業式・集団下校	
17	火	認知症サポーター講座（4年）	
27	金	クラブ活動（4～6年）	

職員の退職のお知らせ

長年、大園小学校の子どもたちのためにご尽力いただいた支援員の先生が、2学期終了をもってご退職されることとなりました。多くの学級で子どもたちに寄り添い・触れ合いながらご支援いただきました。子どもたちも寂しくなると思います。終業式後に先生とお別れをしました。